

発表会の計画立案に使用する。
発表会までの手順を示し、発表内容・方法がイメージできるよう例を提示する。
発表内容・方法のアイデアを出すことができたかを記述から評価する。

ザ・中国～中国大発見～

発表会の計画を立てよう

6の2ザ・中国プロジェクト

日にち 11月下旬のごみゼロの日
場所 体育館
見る人 全校の子
大切にすること 自分たちが勉強してきたことが分かりやすく・楽しく・全員に伝えられる発表会をめざす。

「紙に書いて説明をする」という今までの方法ではなく、**伝える相手を意識し、工夫のある方法**で発表する。

発表会までの手順・・・プロジェクト会議は授業外、リーダープラス先生

発表の内容をみんなで決める。

1. グループ分けをする。 ・・・・プロジェクトリーダーを決める。
2. 発表の方法をグループで決める。—— プロジェクト会議1・・・時間の割り振り
内容について
はじめとおわり
休憩CM準備中
司会
3. それぞれのグループからの提案
4. 仕事・係の分担・・・他のグループに頼むことも言えるようにしておく
プロジェクト会議2・・・調整・台本・
効果音
5. 準備開始
6. グループ練習 —— プロジェクト会議3・・・進行状況確認
司会
7. 全体練習
8. リハーサル
9. 本番

<発表としてできそうなものの例>

- ・ 中国ってこんな国・・・国の説明 国の形のパズル(テレビにある?)
- ・ 中国の子どもたちと日本の子どもたちのちがい
- ・ 漢字クイズ
- ・ 歌をきいて!・・・中国語で大合唱する?
- ・ あいさつやじゃんけんをやってみよう・・・中国の衣装をきて
- ・ ギョーザ・・・大きな画面でうつす
「ごちゅうもんは、どっち?」
- ・ 三国志の寸劇・・・コマーシャルで
とぎれないような工夫
効果音など入れてもよい
プロジェクター使用できる
「では、これから説明をします」「はじめます」という普通のはじめ方はできるだけやめる。

名まえ()

どんなことが、どんな方法で発表できそうかアイデアをいっぱい書こう。絵でもいいです。ぼくだったらこんなふうにやってみたい、テレビの番組でやっていた方法でいいものが・・・司会はこんなふうに・・・オープニング、エンディングのアイデアなど